

## 2010「植村直己冒険賞」受賞者



栗秋 正寿  
福岡県福岡市在住

### 中央アラスカ山脈83日間に及ぶ ハンター冬季単独登頂に挑戦

#### 概要

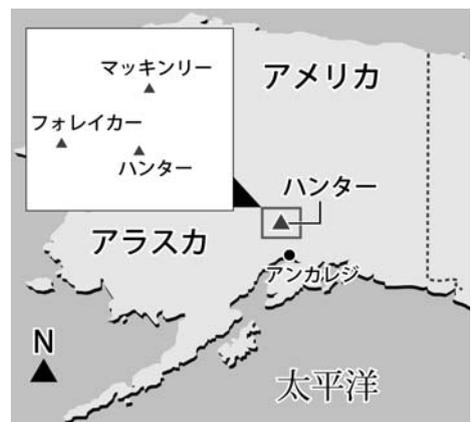
15歳の時に北アルプスを舞台にした映画を見て感動し、高校山岳部で登山を始める。大学山岳部でマッキンリー（6194m）に登頂し、夕日に映えるフォレイカー、ハンター、マッキンリー北峰の神々しい姿を見て運命的な出会いを感じる。

以来、アラスカに魅せられ、1998年、世界で4人目、史上最年少となるマッキンリー冬季単独登頂に成功。下山後、徒歩でリヤカーを引いてアラスカ縦断1,400kmを旅する。2007年、世界初となるフォレイカー（5304m）の冬季単独登頂に成功した。

2010年、ハンター（4442m）冬季単独登頂を目指し、5度目の挑戦を行い、雪洞でひたすらチャンスを待ったが、登頂には至らなかった。自称「山の旅人」のアラスカ山脈冬季単独行への挑戦は今後も続いていく。

#### 工夫・独創性

極地特有の暴風を安全に凌いで登頂チャンスをひろげるため、2か月以上の登山期間を設け、雪洞を多用し、カプセルスタイルで臨んだ。カプセルスタイルとは、必要最小限の登山ロープを張り替えて使用し、荷上げを繰り返しながら、一つずつ上のキャンプに移動して山頂を目指す登山スタイルである。このスタイルの利点は、滞在キャンプに常に十分な食料と燃料を確保でき、長い停滞にも対処できることにある。



アラスカ三山位置図

## 冒険経歴

【主な海外登山歴】 (★は登頂成功)

- 1995年7月 ★九州工業大学大学院在学中、山岳部としてマッキンリー（6194m）に登頂
- 1996年4月～6月 ハンター（4442m）とフォレイカー（5304m）を単独で試登
- 1996年9月～1997年1月 ネパール・ヒマラヤで高所・耐寒トレーニングを行い、  
 ★アイランド・ピーク（6160m）、★パルチャモ（6273m）  
 ★ピサン・ピーク（6091m）、★チュルー・ファー・イースト（6059m）  
 にそれぞれ単独登頂
- 1997年2月～3月 マッキンリー冬季単独登頂に挑むが、悪天候のためウエストバットレスの5200m  
 地点で断念
- 1998年3月8日 ★マッキンリー冬季単独登頂(世界で4人目、史上最年少)に2度目の挑戦で成功  
 (ウエストバットレス)
- 1998年4月～7月 リヤカーを引いてアラスカ縦断1,400kmの旅をする
- 1999年4月3日 ★フォレイカーにスルタナ稜から単独登頂するが、冬季登頂の記録は逃す
- 2001年3月31日 ★フォレイカーに南東稜から単独登頂するが、冬季登頂の記録は逃す
- 2002年1月～3月 フォレイカーに挑むが、悪天候のため南東稜の2590m地点で断念
- 2003年2月～4月 ハンターに挑むが、悪天候のため西稜の2740m地点で断念
- 2004年2月～3月 ハンターに挑むが、悪天候のため西稜の2540m地点で断念
- 2005年2月～4月 ハンターに挑むが、悪天候のため西稜の2300m地点で断念
- 2006年2月～4月 マッキンリーに挑むが、悪天候のためサウスバットレスの2750m地点で断念
- 2007年3月10日 ★フォレイカー冬季単独登頂（世界初）に通算4度目の挑戦で成功（南東稜）
- 2009年1月～3月 ハンターに挑むが、悪天候のため西稜の2600m地点で断念
- 2009年12月～2010年3月 ハンターに挑むが、悪天候のため西稜の3300m地点で断念

## その他

著書「アラスカ 垂直と水平の旅」(山と溪谷社)

〈関連サイト〉 <http://www.japanesecaribou.com/>

## 2010 冒険情報数一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	45	92	6	3	1	0	3	150
団体活動	47	8	9	0	0	0	3	67
合計	92	100	15	3	1	0	6	217